



「中立えこ通信」

～地域ではじめようエコ生活～ Vol. 04



2024年3月31日 発行：中立エコ生活推進会議

持続可能な社会の実現に向けてー令和5年度活動報告ー

1 広報誌の発行

1年に1回「中立えこ通信」を、2ヶ月に1回「中立えこミニ通信」を発行し、啓発活動に努めました。

2 堀川清掃

今年度も、奇数月の第3日曜日に堀川清掃を行いました。

実施日は中立えこミニ通信でお知らせしていますが、それをご覧になり、新たに参加して下さる方もいらっしゃいました。

また、3月31日には、「第13回堀川桜まつり」が開催され、中立学区からは骨付きウインナーの屋台を出しました。



3 落ち葉の堆肥化

今年度もタヒロンを用いた落ち葉の堆肥作りを行いました。

「中立えこミニ通信」第13号でお知らせしました通り、家庭の落ち葉の回収を実施し、11月から2月までの3か月間で、90ℓのタヒロン2杯分になりました。

早速、回収した落ち葉に新春もちつき大会で使用のもち米のぬかと水を散布し、今年の冬には堆肥として再利用予定です。

また、新町小学校4年生が堀川清掃で回収した落ち葉は、小学校の畑に培養土とともに堆肥として使用予定です。



4 学校との連携

今年度も新町小学校4年生の「わくわく学習」を利用した環境学習に協力させていただきました。堀川の歴史とホテルプロジェクトの担当の方からのお話を聞く機会を設けました。また、子ども達は、実際に堀川に行き、ホテルの生育していた場所の観察したり、清掃や落ち葉の収集を行いました。



5 地域行事への参加・協力

★中立ふれあい広場

8月5日に新町小学校で開催されました「中立ふれあい広場」に、「京エコロジーセンターのエコブース」を出展しました。「自然のエネルギーってなあに？」をテーマに、新町っ子探究団の子ども達にお手伝いをお願いし、ご参加くださった皆さんにも楽しく学んでいただきました。



また、ゴミの分別も徹底して行い、回収された割り箸と串は、ロ

京都環境賞奨励賞受賞

令和5年度(第21回)京都環境賞に応募し、今年度の活動が認められ、今年度も奨励賞を受賞することができました。これからも、持続可能な社会の実現に向けて活動を継続していきたいと思っておりますので、多くの関心とご協力をお願いいたします。



ケットストーブの燃料として再利用されました。

今回初めての取組みとして「燃料電池自動車ミライ」を展示・広報し、そこから電気を取り出し屋台村に供給しました。他学区の方が関心を示され、後日お祭りで採用されました。



★ちゅうりつの立売「苑西マルシェ」

11月26日第2回目となる「苑西マルシェ」が新町小学校で開催されました。

それに先立ち、11月5日、マルシェで野菜等を提供していただく京北町で開催された「京北まつり」に参加しました。そこで、行われていた「均一料金での野菜のつめ放題」が、お徳感もあり、袋に詰め込んでいく過程に楽しさもあり、今回の目玉として実施することにしました。



また、悠久クラブからの提案で、会員の方限定のクーポンを発行していただきました。マルシェの開催を知っていただくためにも大変役立ちましたし、ご参加いただいた方々にも大変好評でした。

★太陽光発電の利用

毎週月曜日悠久クラブ主催で開催されている「公園体操」で使用しているオーディオプレーヤーや、堀川清掃で使用しているブロワーの電源には、太陽光パネルを用いて蓄電したものを利用しています。

6 最後に

私たちの活動は、一過性のものでなく、何れも継続して行われています。それは、エコ生活を実践していく上で重要なことだと考えるからです。

また、エコ活動が、一方通行ではなく、地域の皆さんに還元されるように努めています。① 和い輪いカフェでマイカップを持参された方にはスタンプを押し5個で1回無料チケットをお渡しする ② コーヒーかすをご持参していただいたら、ポケットティッシュをお渡しする ③ ご家庭から回収した落ち葉で作った堆肥を利用して委員が作った野菜は、和い輪いカフェ開催日に地域の皆さんにお配りするなどです。

これからも、持続可能な社会の実現のために、実践・継続しやすいエコ活動を提案していきたいと思っております。

令和6年度移動式資源物回収の予定

○まちかど回収

有害・危険ごみを含まない18品目の移動式拠点回収
(年に3回：木曜日午後2時～3時に実施)

日程 1 令和6年5月23日 2 令和6年10月31日
3 令和7年2月27日

場所 何れも上京リサイクルステーション

※今年度、有害・危険ごみの回収はありません令和7年度に実施となります。

令和5年度実績

(有害含む拠点回収) 上京リサイクルステーション
来場者数 計 66人 回収量 計 175kg
(まちかど各3回) 上京リサイクルステーション
来場者数 計 18人 回収量 計 64kg



東部まち美化事務所

さすてな京都に行ってきました！

1. さすてな京都の由来および運営の概要

さ「最先端」す「素晴らしい」て「展望台のある」な「南部クリーンセンター」の頭文字と、「持続可能な」という意味の「サステナブル」を合わせてあるそうです。

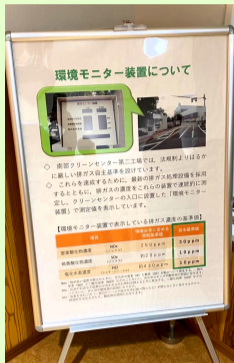
開館時間は9:00～17:00、休館日は水曜日と年末年始です。



2. 安心安全にごみを完全燃焼

プラットホームやごみピットの空気を焼却炉で燃焼用として使用し、燃やして臭いを分解しています。

また、法規制よりはるかに厳しい排ガス自主基準を設けており、これを達成するために最新の排ガス処理設備を採用するとともに、排ガスの濃度を環境モニター装置で連続的に測定し、表示しています。



3. 熱エネルギーの有効活用

ごみの焼却によって発生した熱から作り出した高温・高圧の蒸気を利用して発電を行っています。

最大14,000kWを発電することができ、南部クリーンセンターの蒸気タービン発電機での年間の電力量は、一般家庭で使用する年間消費電力量のおよそ22,000世帯分に相当します。発電した電気は、バイオガス化施設で発電した電気とともに施設内の機器で使用し、余った電気は電力会社に売っています。



4. 環境への配慮

バイオガス化施設では、燃やすごみの中から選別した生ごみ等を、微生物(メタン菌など)の力により発酵させてバイオガスを作ります。発生したバイオガスは、最大1,000kWを発電するガスエンジン発電機の燃料として使用され、このガスエンジン発電機で発電できる年間電力量は、一般家庭で使用する年間消費電力量のおよそ2,000世帯分に相当します。



5. 資源の有効活用

大型ごみなどを貯めるピットは2つに区分されており、ふとんや畳などの柔らかいごみは「弾性ごみピット」、たんすなどの固いごみは「粗大ごみピット」に貯められます。粗大ごみピットに貯められたごみは、様々な機器を使い、資源となる鉄とアルミニウムを選別します。

まず、コンベアで高速回転式破碎機に送り、細かく砕きます。その後、磁選機で、磁石の働きにより鉄を選別します。次に、粒度選別機に送り、木や紙などの大きな可燃物を取り除きます。残ったものからアルミ選別機で、磁界を利用してアルミニウムだけを選別して回収し、残ったものはごみピットに送り、焼却処理します。

選別された鉄とアルミニウムは、資源としてリサイクルするために選り出します。

アルミ選別機のしくみが分かる装置が置いてありました。



6. 施設見学を終えて

とても綺麗な施設で、いろんな工夫がされており楽しく見学することができました。

入ってすぐのところに、床一面に広がる京都市内の航空写真が印象的でした。

実物大のパッカー車の壁面を背景に、トリックアート風な写真を撮ることもできます。焼却炉の内部をイメージした通路もあり、アプリを読み込むと焼却炉の中にいる面白い写真も撮れます。

展望台では、タブレットを使うと見えている景色をAR技術を用いて解説してくれます。昔の横大路沼・巨椋池を再現した風景イメージやクリーンセンター内の様子が360度のVR映像で再現されるそうで、興味深かったです。

そして、ごみの分別や食品ロスを減らすことがいかに大切か痛感しました。

京都市民1人1日あたりのごみ量は383gで、政令指定都市の平均550gより少ないようですが、それでもまだ減らすことができるのではないかと思います。賞味期限が少し切れたくらいでは捨てない、買い物に出かける前には冷蔵庫をチェックし余計なものは買わないようにする、など節約にも繋がって自分のためにもなると思います。

今回、さすてな京都を見学したことでエコに対する意識が高まりました。皆様もぜひ一度訪れてみてはいかがでしょうか？

文責：大西 裕子



さすてな京都
開館時間 9:00～17:00
休館日 水曜日 年末年始
住所 京都市伏見区横大路八反田29番地
TEL & fax TEL075-606-2548
fax075-606-2549

入場無料

突っぱるゾウお譲りします！

先日、家具の転倒防止金具「突っぱるゾウ」(未使用)を、中立住民福祉協議会にご寄贈いただきました。そこで、中立悠久クラブの皆さんのご協力のもと、地域の皆さまにお譲りさせていただくことになりました。

2月から、中立会館に現物を展示し、その旨お知らせしたところ、能登半島で大きな地震が起こった直後でもあり、多くの皆さんが関心を寄せて下さいました。

ご自分で設置される方には、和い輪いカフェや公園体操の際にお渡しし、取り付けをご希望される方には、ご自宅までお伺いして、取り付けのお手伝いをさせていただきました。

まだ、いくらか残りがございます。未使用で倉庫に保管されていたものです。ご希望の方は、中立悠久クラブ(担当：辻、岡田)までご連絡をお願いします。



エコ学区サポートセンターのホームページの中立学区のページで、当推進会議の活動をご覧いただけます。こちらのQRコードよりご確認ください。→



中立えこ通信は、「京都市ごみ減量活動支援助成金」を利用して作成しています。